





旅立ちは、いつも不穏な空から。

置いてゆくものの気配が、背中をざらり

猫の舌でなでる。



借りた車のステレオは調子を外し、  
一切の音が途絶える。



にじむ。なにか。

現れては消える、なにか。

を横目に、線をわたる。



線上の粒。

聞こえない音符。



吠えたい。吠えたい。

のどが暴れる。

吠えることはヒトに許されない。

のどをつぶす。



犬は吠える。空に。

置いてきた猫はどうだったか。



線と身体が、

緩やかに軋む。



糸のような言葉を吐き、

羽化しない繭を残し、



その先にあるものは、どこも同じ。

線がつながれている限り。



果てに、  
いる筈のない猫の咆哮が  
響いた。